



道南金融経済概況 2021年2月

Hakodate Monthly Economic Report

概況

道南地方の景気は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響から、厳しい状況が続いており、持ち直しの動きが弱まっている。

項目別にみると、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響から、観光は、持ち直しの動きに歯止めがかかっており、厳しい状況にあるほか、個人消費は、総じてみると緩やかに持ち直しつつあるものの、弱い状況が続いており、特に感染再拡大による今後の影響を注視していく必要がある。また、住宅投資は、総じてみると減少している。そうしたもとで、生産は、一部に弱めの動きがみられるほか、雇用環境は、弱さが目立っている。この間、公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、減少している。

前回からの変化

項目	前回	前回比	今回
全体判断	新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しい状況が続いているものの、持ち直している。	↓	新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響から、厳しい状況が続いており、持ち直しの動きが弱まっている。
公共投資	高水準で推移している。	⇒	高水準で推移している。
設備投資	減少している。	⇒	減少している。
住宅投資	総じてみると減少している。	⇒	総じてみると減少している。
個人消費	弱い状況が続いているものの、緩やかに持ち直しつつある。	⇒	総じてみると緩やかに持ち直しつつあるものの、弱い状況が続いており、特に感染再拡大による今後の影響を注視していく必要がある。
観光	全体としては持ち直しているものの、厳しい状況が続いており、特に感染再拡大による今後の影響を注視していく必要がある。	↓	持ち直しの動きに歯止めがかかっており、厳しい状況にある。
生産	一部に弱めの動きがみられる。	⇒	一部に弱めの動きがみられる。
雇用	雇用環境は、求人数の減少から、弱さが目立っている。	⇒	雇用環境は、弱さが目立っている。

1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

公共工事請負金額（渡島・桧山管内、2020年度初来累計）は、鉄道を中心に前年を上回っている。

設備投資は、減少している。

2020年度設備投資計画（12月短観、含む土地投資額）は、製造業が前年を上回っているものの、非製造業が前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。この間、生産・営業用設備判断D.I.（12月短観、全産業）は、「過剰」超となった。

住宅投資は、総じてみると減少している。

新設住宅着工戸数（函館市）は、貸家は低水準で推移しているほか、持家は新型コロナウイルス感染症の影響等から減少している。

個人消費は、総じてみると緩やかに持ち直しつつあるものの、弱い状況が続いており、特に感染再拡大による今後の影響を注視していく必要がある。

小売店売上高（主要7社）は、前年を上回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品はいずれも前年を下回ったものの、食料品は前年を上回った。乗用車新車登録・届出台数は、普通・小型車、軽自動車ともに、持ち直しの動きがみられている。家電販売をみると、幅広い品目で堅調に推移している。旅行取扱額をみると、持ち直しの動きに歯止めがかかっており、前年を下回っている。

観光は、持ち直しの動きに歯止めがかかっており、厳しい状況にある。

函館市内ホテル（主要23先）の宿泊客数は、前年を下回った。函館山ロープウェイの利用客数は、前年を下回った。五稜郭タワーの利用客数は、前年を下回った。函館空港乗降客数は、前年を下回った。

2. 生産

生産は、一部に弱めの動きがみられる。

主要業種別にみると、水産加工は、弱めの動きとなっている。造船は、安定した操業を続けている。

3. 雇用

雇用環境は、弱さが目立っている。

有効求人倍率（渡島・桧山管内）は、前年を下回った。この間、雇人員判断 D. I.（12 月短観、全産業）は、「不足」超となった。

4. 企業倒産

企業倒産は、増加が一服している。

5. 金融

預金は、個人や法人を中心に増加している。

貸出金は、法人向けを中心に増加している。

貸出金利は、緩やかに低下している。

道南主要指標

1. 実体経済関連指標

	公共工事請負金額 (渡島・桧山管内)		小売店 売上高前年比 (主要7社)	乗用車新車登録・届出台数			
	前年比	%		普通・小型車		軽自動車	
			前年比	%	前年比	%	前年比
2018年度	百万円	%	%	台	%	台	%
2019年度	88,391	12.0	▲ 1.3	8,476	0.1	6,980	▲ 1.6
2019年度	103,852	17.5	▲ 2.2	7,868	▲ 7.2	6,161	▲ 11.7
2019年10-12月	10,195	24.4	▲ 4.6	1,421	▲ 18.9	1,224	▲ 17.0
2020年 1- 3月	10,784	26.4	▲ 3.2	2,019	▲ 8.0	1,590	▲ 18.7
4- 6月	68,340	20.3	▲ 3.6	1,560	▲ 30.0	977	▲ 43.2
7- 9月	24,685	▲ 5.3	▲ 1.7	1,820	▲ 17.2	1,721	5.8
10-12月	7,217	▲ 29.2	2.7	1,667	17.3	1,466	19.8
2019年 12月	949	▲ 46.5	▲ 3.5	504	3.5	335	▲ 18.9
2020年 1月	731	12.8	▲ 1.9	454	▲ 15.3	377	▲ 18.6
2月	858	18.6	▲ 0.9	591	▲ 4.4	485	▲ 16.2
3月	9,195	28.5	▲ 6.6	974	▲ 6.3	728	▲ 20.3
4月	32,644	8.1	▲ 5.9	615	▲ 25.0	332	▲ 42.8
5月	18,648	16.1	▲ 6.1	386	▲ 43.3	232	▲ 60.4
6月	17,048	61.6	1.2	559	▲ 23.3	413	▲ 25.5
7月	8,931	▲ 44.9	0.5	623	▲ 18.7	555	15.9
8月	9,756	69.5	0.4	531	▲ 2.4	498	8.0
9月	5,998	46.4	▲ 6.1	666	▲ 25.0	668	▲ 2.8
10月	4,446	▲ 28.0	5.3	618	44.4	566	28.1
11月	1,708	▲ 44.4	2.8	589	20.4	518	15.9
12月	1,063	12.0	0.8	460	▲ 8.7	382	14.0
資料出所	北海道建設業信用保証		日本銀行函館支店	日本自動車販売協会連合会函館支部、函館軽自動車協会			

(注) 1. rは修正値。pは速報値。

2. 以下の項目の年度・四半期については、日本銀行函館支店の算出値。

(年度・四半期) 乗用車新車登録・届出台数、函館空港乗降客数、五稜郭タワー利用客数、企業倒産
(四半期) 公共工事請負金額、新設住宅着工戸数、函館山ロープウェイ利用客数、有効求人倍率

3. 小売店売上高前年比は、2019年2月から調査先数を主要7社に変更。

	新設住宅着工戸数(函館市)							
	戸	前年比	持家		貸家		分譲住宅	
			戸	前年比	戸	前年比	戸	前年比
2018年度	1,475	▲ 12.0	571	▲ 2.6	713	▲ 23.2	182	14.5
2019年度	1,570	6.4	611	7.0	727	2.0	232	27.5
2019年10-12月	374	▲ 28.1	137	▲ 4.2	165	▲ 49.4	72	41.2
2020年 1- 3月	260	17.6	111	4.7	89	71.2	60	▲ 4.8
4- 6月	295	▲ 30.3	150	▲ 24.2	88	▲ 49.4	57	11.8
7- 9月	307	▲ 40.2	122	▲ 26.1	126	▲ 57.9	59	20.4
10-12月	369	▲ 1.3	137	0.0	177	7.3	54	▲ 25.0
2019年 12月	177	35.1	43	▲ 8.5	94	38.2	40	2.5倍
2020年 1月	56	▲ 26.3	29	▲ 3.3	11	▲ 31.3	16	▲ 46.7
2月	136	2.4倍	36	9.1	72	7.2倍	28	2.0倍
3月	68	▲ 22.7	46	7.0	6	▲ 76.9	16	▲ 15.8
4月	87	▲ 47.6	52	▲ 23.5	16	▲ 81.4	19	58.3
5月	117	2.6	56	▲ 5.1	30	▲ 16.7	31	63.2
6月	91	▲ 36.4	42	▲ 40.8	42	▲ 19.2	7	▲ 65.0
7月	117	▲ 49.4	43	▲ 33.8	52	▲ 65.8	22	57.1
8月	109	▲ 7.6	45	▲ 11.8	48	9.1	16	▲ 30.4
9月	81	▲ 50.6	34	▲ 30.6	26	▲ 74.8	21	75.0
10月	115	17.3	38	▲ 30.9	67	2.8倍	10	▲ 47.4
11月	124	25.3	41	5.1	73	55.3	9	▲ 30.8
12月	130	▲ 26.6	58	34.9	37	▲ 60.6	35	▲ 12.5
資料出所	国土交通省							

(注) 4. 新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅、給与住宅の合計。

	函館市内ホテル 宿泊客数前年比 (主要23先)	函館空港乗降客数						函館山ロープウェイ 利用客数		五稜郭タワー 利用客数	
		千人	前年比 %	国内線		国際線		千人	前年比 %	千人	前年比 %
				千人	前年比 %	千人	前年比 %				
2018年度	▲ 2.7	1,789	0.3	1,608	0.8	180	▲ 4.2	1,696	▲ 2.8	865	▲ 3.3
2019年度	▲ 5.3	1,679	▲ 6.1	1,531	▲ 4.8	147	▲ 18.3	1,591	▲ 6.2	892	3.2
2019年10-12月	0.9	450	2.4	405	2.1	45	5.2	406	17.7	213	13.0
2020年 1- 3月	▲ 35.1	279	▲ 30.3	252	▲ 28.5	26	▲ 43.5	274	▲ 40.7	89	▲ 38.4
4- 6月	▲ 83.9	49	▲ 88.6	49	▲ 87.5	0	皆減	12	▲ 97.2	7	▲ 97.4
7- 9月	▲ 52.0	175	▲ 65.7	175	▲ 62.9	0	皆減	142	▲ 69.9	106	▲ 65.6
10-12月	▲ 32.2	261	▲ 42.1	261	▲ 35.6	0	皆減	201	▲ 50.4	133	▲ 37.7
2019年 12月	▲ 9.8	140	2.6	124	2.7	16	1.8	169	▲ 13.2	60	1.3
2020年 1月	▲ 6.4	135	2.8	119	3.3	16	▲ 1.3	153	1.2	42	▲ 2.3
2月	▲ 26.6	102	▲ 14.5	92	▲ 11.5	10	▲ 34.3	99	▲ 33.9	36	▲ 20.4
3月	▲ 69.1	41	▲ 72.2	41	▲ 69.1	0	皆減	21	▲ 86.7	10	▲ 81.1
4月	▲ 78.8	15	▲ 87.6	15	▲ 86.4	0	皆減	4	▲ 97.1	2	▲ 97.4
5月	▲ 91.0	9	▲ 94.2	9	▲ 93.7	0	皆減	0	皆減	0	皆減
6月	▲ 80.7	24	▲ 83.3	24	▲ 82.1	0	皆減	7	▲ 93.6	5	▲ 93.6
7月	▲ 62.7	46	▲ 69.5	46	▲ 67.4	0	皆減	26	▲ 79.4	18	▲ 78.5
8月	▲ 53.9	59	▲ 67.6	59	▲ 64.5	0	皆減	57	▲ 67.2	37	▲ 68.7
9月	▲ 39.9	69	▲ 60.5	69	▲ 57.2	0	皆減	58	▲ 65.6	49	▲ 51.0
10月	▲ 22.4	96	▲ 41.0	96	▲ 34.6	0	皆減	48	▲ 39.7	59	▲ 34.2
11月	▲ 20.2	101	▲ 31.0	101	▲ 23.9	0	皆減	107	▲ 30.6	53	▲ 15.5
12月	▲ 55.7	63	▲ 55.0	63	▲ 49.2	0	皆減	45	▲ 73.5	20	▲ 66.3
資料出所	日本銀行函館支店	函館空港ビルディング						函館山ロープウェイ		五稜郭タワー	

(注) 5. 函館市内ホテル宿泊客数前年比は、2020年6月から調査先数を主要23先に変更（2020年5月以前の月次、2020年1-3月以前の四半期、2019年度以前の年度は主要24先）。

	水産加工品 売上高前年比 (主要6社)	有効求人倍率 (渡島・松山管内)		企業倒産 (負債総額10百万円以上)	
		倍	ポイント	倒産件数	負債総額 百万円
2018年度	▲ 4.4	1.03	▲ 0.03	8	760
2019年度	▲ 0.2	0.94	▲ 0.09	17	10,651
2019年10-12月	2.9	0.95	▲ 0.09	5	2,498
2020年 1- 3月	▲ 7.3	0.82	▲ 0.22	2	3,012
4- 6月	▲ 0.6	0.69	▲ 0.32	3	427
7- 9月	▲ 10.9	0.68	▲ 0.28	2	278
10-12月	▲ 6.7	0.74	▲ 0.21	1	200
2019年 12月	▲ 0.5	0.92	▲ 0.12	2	319
2020年 1月	10.1	0.81	▲ 0.26	1	3,000
2月	▲ 8.0	0.83	▲ 0.18	0	0
3月	▲ 17.2	0.83	▲ 0.19	1	12
4月	▲ 9.1	0.71	▲ 0.27	1	79
5月	1.8	0.68	▲ 0.32	0	0
6月	7.6	0.67	▲ 0.37	2	348
7月	▲ 8.5	0.67	▲ 0.32	1	78
8月	▲ 14.5	0.69	▲ 0.26	0	0
9月	▲ 10.2	0.68	▲ 0.25	1	200
10月	▲ 9.9	0.73	▲ 0.25	0	0
11月	▲ 12.0	0.73	▲ 0.22	1	200
12月	▲ 0.9	0.77	▲ 0.15	0	0
資料出所	日本銀行函館支店	函館公共職業安定所		東京商工リサーチ函館支店	

(注) 6. 水産加工品売上高前年比（主要6社）は、2019年4月から一部調査先における計上品目を拡大。

2. 金融関連指標

	実質預金末残前年比				貸出金末残前年比			
		法人	個人	地公体		法人向け	個人向け	地公体向け
	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円	%、億円
2018年度	1.6	3.9	0.4	8.4	0.4	▲ 1.5	2.6	2.9
2019年度	▲ 0.2	▲ 2.1	1.0	▲ 8.6	▲ 1.3	▲ 2.4	2.9	▲ 5.4
2019年 12月	0.5	0.6	1.1	▲ 7.2	0.4	▲ 1.2	2.6	1.9
2020年 3月	▲ 0.2	▲ 2.1	1.0	▲ 8.6	▲ 1.3	▲ 2.4	2.9	▲ 5.4
6月	5.0	10.0	3.6	3.8	2.8	3.7	3.0	▲ 0.3
9月	7.3	15.5	4.3	17.9	3.4	5.0	2.3	0.1
12月	8.2	18.8	4.6	16.6	3.8	5.6	2.9	▲ 0.7
2019年 12月	0.5	0.6	1.1	▲ 7.2	0.4	▲ 1.2	2.6	1.9
2020年 1月	0.8	1.1	1.2	▲ 5.3	0.6	▲ 1.0	2.7	2.3
2月	1.4	3.3	1.3	▲ 4.8	0.6	▲ 0.8	2.8	1.3
3月	▲ 0.2	▲ 2.1	1.0	▲ 8.6	▲ 1.3	▲ 2.4	2.9	▲ 5.4
4月	1.0	0.2	0.9	6.7	▲ 0.5	▲ 1.9	3.0	▲ 2.5
5月	5.7	9.9	2.2	32.4	1.2	0.5	3.1	▲ 0.1
6月	5.0	10.0	3.6	3.8	2.8	3.7	3.0	▲ 0.3
7月	6.1	15.1	3.8	3.4	3.6	5.1	2.9	▲ 0.2
8月	6.0	12.6	4.1	5.1	3.8	5.4	2.8	0.1
9月	7.3	15.5	4.3	17.9	3.4	5.0	2.3	0.1
10月	7.9	19.7	4.5	8.0	4.1	6.2	2.6	0.0
11月	6.9	15.3	4.4	6.9	3.7	5.4	2.7	▲ 0.2
12月	8.2	18.8	4.6	16.6	3.8	5.6	2.9	▲ 0.7
月末残高	17,130	3,993	12,196	911	10,143	5,552	3,087	1,503
資料出所	日本銀行函館支店							

(注) 7. 実質預金末残（預金末残一切手手形）・貸出金末残は、国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く）および信用金庫の道南地方店舗の銀行勘定（オフショア勘定を除く）を集計。

	貸出約定平均金利 (ストック・総合) <含・当座貸越>	銀行券				
		発行		還収		
		億円	%	億円	%	
2018年度	1.193	1,696	▲ 4.4	726	1.2	
2019年度	1.162	1,642	▲ 3.2	695	▲ 4.2	
2019年 12月	1.165	2019年10-12月	528	▲ 3.0	122	▲ 10.0
2020年 3月	1.162	2020年 1- 3月	309	▲ 10.9	173	▲ 16.6
6月	1.144	4- 6月	462	2.2	75	▲ 66.6
9月	1.135	7- 9月	367	4.5	127	▲ 26.1
12月	1.126	10-12月	499	▲ 5.5	83	▲ 31.8
2019年 12月	1.165	2019年 12月	261	▲ 3.1	27	▲ 10.6
2020年 1月	1.165	2020年 1月	60	▲ 9.3	102	▲ 5.9
2月	1.165	2月	119	▲ 14.6	31	▲ 35.5
3月	1.162	3月	129	▲ 8.0	39	▲ 21.5
4月	1.168	4月	167	▲ 31.2	26	▲ 39.5
5月	1.151	5月	108	55.2	31	▲ 76.4
6月	1.144	6月	187	33.9	17	▲ 64.4
7月	1.141	7月	114	▲ 1.7	33	▲ 49.9
8月	1.136	8月	124	▲ 8.9	43	▲ 26.2
9月	1.135	9月	127	30.8	51	7.0
10月	1.131	10月	120	▲ 24.3	27	▲ 46.5
11月	1.128	11月	117	8.9	34	▲ 21.5
12月	1.126	12月	261	0.0	22	▲ 20.3
資料出所	日本銀行函館支店	資料出所	日本銀行函館支店			

(注) 8. 貸出約定平均金利は、国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く）の道南地方店舗の貸出金利を貸出金残高（末残）で加重平均したもの。